

医療法人社団 輝生会

初台リハビリテーション病院

HATSUDAI REHABILITATION HOSPITAL

〒151-0071 東京都渋谷区本町 3-53-3

TEL.03-5365-8500(大代表)

FAX.03-5365-8503

https://www.hatsudai-reha.or.jp

- 理事長 水間 正澄
- 院長 菅原 英和
- 建物 鉄筋コンクリート造 [地下1階・地上8階]
- 開院 2002年6月
総合リハビリテーション施設
回復期リハビリテーション病棟
- 病床数 173床(個室53室・4人室30室)
- 面会時間 午前8時30分～午後9時00分

交通のご案内

- 京王新線「初台駅」東口より徒歩10分
- 都営地下鉄大江戸線「西新宿五丁目駅」A2出口より徒歩9分
- 京王バス(64系統・渋谷駅西口46番～中野駅)
「関東国際高校」下車徒歩1分

- 駐車場 … 52台(30分250円)
外来患者さまは1時間無料
ご面会の方は30分無料

□ お車で来院になるお客さまへ

首都高速利用の場合

- 首都高速／環状線から4号下り線で新宿IC出口にて一般道へ。
- 中央高速道から首都高速4号上り線で初台出口にて一般道へ。
- 首都高速／中央環状線内回りで中野長者橋出口にて一般道へ。

一般道利用の場合

- 池袋方面からご来院の方は、山手通りを中目黒方面に向かい、青梅街道・方南通りを通過し、関東国際高前の信号を右折してください。
- 中目黒方面からご来院の方は、山手通りを池袋方面に向かい、甲州街道・水道道路を通過し、関東国際高前の交差点の左側です。
- 新宿方面からご来院の方は、甲州街道／西参道信号を通過してすぐに側道に入り初台交差点を右折してください。



医療法人社団 輝生会

初台リハビリテーション病院

HATSUDAI REHABILITATION HOSPITAL



船橋市立リハビリテーション病院



船橋市リハビリセンター



在宅総合ケアセンター元浅草



在宅総合ケアセンター成城



kisei·kai

医療法人社団 輝生会

本部/〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9 キクヤビル5F

初台リハビリテーション病院	〒151-0071	東京都渋谷区本町3-53-3	TEL.03-5365-8500	FAX.03-5365-8503
船橋市立リハビリテーション病院	〒273-0866	千葉県船橋市夏見台4-26-1	TEL.047-439-1200	FAX.047-439-1386
船橋市リハビリセンター	〒274-0822	千葉県船橋市飯山満町2-519-3	TEL.047-468-2001	FAX.047-468-2059
在宅総合ケアセンター元浅草	〒111-0041	東京都台東区元浅草1-6-17	TEL.03-5828-8031	FAX.03-5827-1538
在宅総合ケアセンター成城	〒157-0072	東京都世田谷区祖師谷3-8-7	TEL.03-5429-2292	FAX.03-5429-2293



再び輝いて欲しい… それが願いです

住み慣れた地域やご自宅で再び輝いた人生を送れるよう、
万全のリハビリテーション医療サービスを提供いたします。

医療法人の基本理念

■「人間の尊厳」の保持

一人ひとりの尊厳が認められ、
個人が輝いて生きていけるように人権を尊重します。

■「主体性・自己決定権」の尊重

患者さまの主体的なリハビリテーションを推進し、
自己決定権を尊重します。

■「地域リハビリテーション」の推進

地域におけるリハビリテーションサービスの向上を
推進します。

■「ノーマライゼーション」の実現

高齢者や障害者が健常者と共に暮らせる
安全で豊かな社会の実現を目指します。

■「情報」の開示

院内情報を開示し、
患者さま・ご家族の方々が納得できる
サービスを提供します。

私たちは、以下の5つの「患者の権利」を 守ってサービスを提供いたします

■ 人権を尊重される権利

一人の人間としての尊厳を保ち、
その人格や価値観などを尊重される権利があります。

■ 自らの意思で選択・決定する権利

治療方法やケアの内容などを
自らの意思で選択し、決定する権利があります。

■ 最善の医療を受ける権利

差別されること無く、良質で最善の医療を
公平に受ける権利があります。

■ 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利

病気や治療について、納得できるまで十分な説明と
情報提供を受ける権利があります。

■ プライバシーの保護を求める権利

診療の過程で提供した個人情報の秘密が守られ、
病院内での私的な生活を可能な限り
他人にさらされず、乱されない権利があります。



初台リハビリテーション病院
医療法人社団 輝生会
創設者

石川 誠
Ishikawa Makoto

創立の想い

今から20年前に東京都心部や船橋市に、回復期から生活期のリハビリテーション医療サービスを提供する医療機関はほとんどありませんでした。当時はリハビリテーション砂漠の状態だったのです。

こうした状況を打破するために、2002年に医療法人輝生会を設立し、初台リハビリテーション病院の開設に始まり、在宅総合ケアセンター元浅草、在宅総合ケアセンター成城、船橋市立リハビリテーション病院、船橋市リハビリセンターの5カ所の拠点ができ、常勤職員数は240名から1,200名へと5倍に増加しました。

当法人は開設当初から「寝たきり」を作らない医療サービスの提供をモットーに、「One for all, All for one」の精神でチームアプローチの推進に努め、各拠点における提供サービスの質を高く保ち続け、スタッフの教育研修には最も力を注いできました。2018年度から新体制となりましたが、輝生会マインドに変わりなく、理念に沿ったリハビリテーション医療を継続いたします。



初台リハビリテーション病院
医療法人社団 輝生会 理事長
水間 正澄
Mizuma Masazumi

医療法人社団輝生会は、地域におけるリハビリテーション医療の推進を目的に、回復期および在宅生活期におけるリハビリテーション医療を提供するために設立されました。法人の基本理念はリハビリテーションの理念に基づいていますが、「輝生会」の名称には障がいを持たれた方々が再び輝いて生き生きとした人生を送ることができるという願いが込められています。その目的を達成するために、回復期リハビリテーション病棟ではリハビリテーション医療を必要とする方々を受入れ、在宅生活に復帰することができることを目指しています。また、在宅生活に復帰された方々に対しては必要に応じて通院・通所・訪問・短期入院など様々な形でのリハビリテーション医療を提供しています。輝生会の5拠点ではそれぞれの特色を生かして、障がいを持たれた方々が地域の一員として再び安心・安全にそして生き生きと暮らし続けて行くことができるよう取り組みを進めております。更なる質の向上ならびに地域との連携強化に努めて私たちの使命を果たして行きたいと思っております。



初台リハビリテーション病院
院長
菅原 英和
Sugawara Hidekazu

回復期リハビリテーション病棟の役割は、「急性期病院から迅速に患者を受け入れる」「十分な医学的管理で合併症の併発を予防・治療しリハを軌道に乗せる」「必要十分なリハを集中的に提供する」「チームアプローチを駆使して出来る限りの機能向上・ADL改善を図る」「地域と連携を取りながら可能な限り家庭復帰を支援する」ことをしっかりと担うことにあります。また、退院後のさらなる機能回復や生活能力の向上、復学復職を支援するためには、生活期のリハビリテーションの機能を併せ持つことも重要です。

当院は回復期リハ病棟としての役割を担うべく、重症者にも対応できる医療・リハケア体制の整備、スタッフの量的および質的充実に向けた教育研修体制の構築、チームアプローチの徹底や情報共有の強化、急性期病院および地域医療・介護との連携推進、生活期リハの充実等、様々な取り組みを組織的に整備・実践してきました。患者さまが安心して最善のリハビリテーションを受けることができ、住み慣れた地域での充実した生活を送ることができるよう、さらに発展させてゆきたいと考えております。



患者さまの回復を支援し、『輝ける人生』のお手伝いをチーム一丸となさせていただきます



医師(Dr.)

入院担当医を各病棟に専従配置することにより、受け持ち患者さまの診療をチームリーダーとして責任をもって担当いたします。各医師はリハビリ科の医師であるとともに、リハビリ専門医、内科専門医、プライマリケア認定医、脳卒中専門医、神経内科専門医等の資格を有しています。また整形外科、眼科、泌尿器科、皮膚科、精神科の各医師が非常勤として勤務しています。



理学療法(PT)

理学療法においては、運動療法・物理療法などを駆使し発症早期から積極的に離床を促し、移動動作の確立を目指します。また、訓練室のみではなく病棟でもADL(日常生活活動)訓練を行います。



作業療法(OT)

病棟生活の場を中心に、食事やトイレ等のADL(日常生活活動)訓練及び作業活動を通じて生きがい、やりがい作りに即した援助をいたします。新たな生活を想定しての訓練や、生活に便利な福祉用具の選定のお手伝いもいたします。



言語療法(ST)

聞く・話すなどの言語障害、記憶・注意・思考などの高次脳機能障害、食べる・飲むなどの嚥下障害がある方に対して、それらの改善を目指して訓練を行います。コミュニケーションや日常生活活動が広がり、その方らしく暮らしていただくために、支援を行います。



ソーシャルワーカー(SW)

病気や障害をもちながらも自分らしい生活を続けていくためのご相談を患者さまとご家族から専門的にお受けする職種です。ゆっくりお話を伺い、さまざまな方法をご一緒に考え、サービスを探します。こうした、こうありたいという気持ちを大切に相談に応じます。



サポート部

患者さまサポートチームとスタッフサポートチームで構成されています。受付、ご案内、会計、病情報の発信、病院の環境整備、事務全般の業務を通して患者さまが気持ちよく病院を利用いただけるよう努力いたします。

リハビリテーションを受ける患者さまは

自分自身と闘っています。

患者さまが、再び『輝ける人生』を

送っていただけるように、スタッフ一丸となって

お手伝いをさせていただきます。



当院では白衣を着用せず、ユニフォームの左胸のワッペンで職種が区別できます。



看護(Ns)・介護(ケアワーカー・CW)

ベッドから離れる時間を徐々に増やし、できるだけ病気や障害をもたられる前と同じ生活を送っていただけるようお手伝いいたします。日中は寝巻から普段着に着替え、食事は食堂で、排泄は昼夜を問わずトイレで行っていただけます。また、一日おきの入浴、毎食後の歯磨きなど清潔ケアを重視しています。



栄養部

患者さまの栄養リスクをいち早く発見し、身体の栄養状態を評価、判定し、最適な栄養プランを提案します。また、栄養素の不足・過剰状態を改善するだけでなく、食事を通して患者さま自身の生活意欲が向上するよう、食事援助、食環境作りを実施いたします。



薬剤科

担当の薬剤師が、病棟にて薬剤についての説明をいたします。患者さまの服用しやすい剤形への変更、体質やアレルギー歴・薬剤服用歴をふまえた薬剤の説明、薬剤による副作用・相互作用を防止または軽減するための情報提供などをいたします。



検査室

検査室では血液・尿・心電図・脳波・超音波などの検査を担当します。障害の原因となった疾患のフォローアップや合併症のコントロールのため、必要な検査を選択し、最新の検査機器にて実施いたします。



放射線科

放射線室は画像診断を担当する部署で、MRI(核磁気共鳴断層撮影装置)やヘリカルCT、及び骨密度測定装置などを備えています。患者さまに安心して入院生活を送っていただけるように、正確、安全、かつ苦痛のない検査を実践していきます。



外来

当院を退院された患者さま等を対象に、外来リハビリテーションサービスを提供しています。訪問リハビリテーション・訪問看護と連携し、地域リハビリテーションの実践に貢献したいと考えております。なお、待ち時間短縮のため予約制を採用、また、初診の患者さまと入院相談のご家族には、通常の外来診療とは異なる医師が担当、ゆとりある対応を心がけています。

私たちが提供する医療サービス

365日のリハビリテーション提供体制

発症からできるだけ早く、そして集中的なリハビリテーションを行うことが効果的とされています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリテーションサービスを土・日・祝日も含め365日提供します。

徹底したチームアプローチ

医師・看護師・ケアワーカー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・薬剤師・管理栄養士・ソーシャルワーカー等、全てのスタッフを病棟に配属し、一日も早い在宅復帰を目指して強力なチームアプローチを実践いたします。

医療機器設備

- MRI (1.5テスラ)：核磁気共鳴を利用した多方向断層撮影
- ヘリカルCT (16列)：X線を利用したコンピューター断層撮影
- 体組成測定：筋肉量等の測定
- VF：嚥下機能の造影検査
- VE：嚥下内視鏡



生活に視点を置いたリハビリテーションの重視

リハビリテーション本来の目的は「生活の再建」にあり、訓練の時間だけでなく、病棟生活の場面の訓練も重要です。ご家庭に復帰されたときの生活をイメージした病棟生活におけるリハビリテーションを効果的にを行います。

モーニングケア・イブニングケアの充実

朝起きて朝食を終えるまでのモーニングケア・夕食を終えて就寝するまでのイブニングケア、これらの時間帯に食事・排泄・更衣・整容・入浴といった生活行為が集中して展開されます。この時間帯のケアを重視し、起床時から就寝まで、できるだけ格差のないケアスタッフを配置しています。

具体的なケアサービス

- ① 食事は食堂で、可能な限り経口摂取していただきます。
- ② 洗面は朝夕洗面所で、口腔ケアは毎食後いたします。
- ③ 排泄は必ずトイレで、オムツは極力使用いたしません。
- ④ 入浴は家庭にある一般的な浴槽を使用し、1日おきに浴槽に入っております。
- ⑤ 朝晩着替え、日中は普段着で過ごしていただきます。
- ⑥ 一人ひとりの体形や姿勢に合った車椅子を用意いたします。
- ⑦ 転倒や誤嚥等の事故防止対策を徹底します。原則として抑制はいたしません。
- ⑧ 可能な限り日中はベッドから離れて過ごしていただきます。



多職種マネジャーの配置

これまでの病院の組織は「たて割り」で、いわゆる診療部・看護部・リハビリテーション部・事務部といった専門職種で分けられていました。

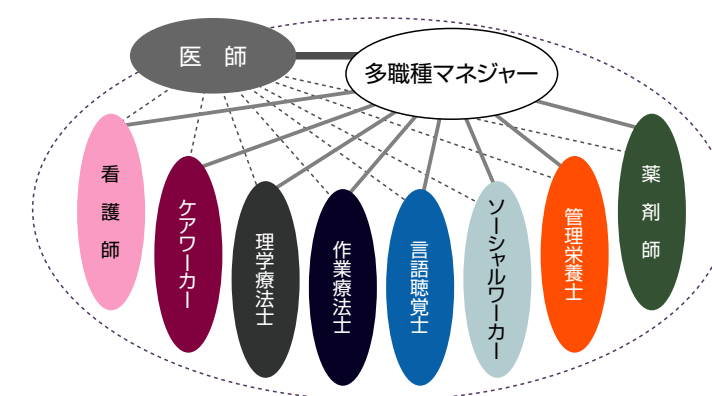
当院は、開設当初から病棟における多職種のチームアプローチの重要性と、専門職種の横の連携強化を目的として病棟責任者と教育担当者によるマトリックス組織を実践してきました。

2021年度からは、さらなるチームアプローチの強化とリハケアの質の向上を目指すために、各フロアに多職種で構成される3名のマネジャーをお配置する新体制を導入しました。今まで以上に現場での教育指導を徹底し、個人とチーム、さらには病院全体の質の向上を目指します。

■ 組織図

	Ns-CW	PT	OT	ST	SW
8階病棟	15	6	5	2	1
7階病棟	16	6	6	2	1
5階病棟	32	19	13	7	3
4階病棟	33	19	14	7	3
3階病棟	32	18	12	8	3
外来・訪問	7	9	9	7	2

■ 多職種によるチームアプローチ



入院診療のご案内

回復期リハビリテーション病棟とは

回復期リハビリテーションを必要とする患者さまを担当する病棟です。日常生活活動(ADL)の向上、寝たぎりの防止、家庭復帰を支援します。リハビリテーションプログラムを医師、看護師、ケアワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー等が共同で作成します。

入院期間の上限

脳卒中の場合、原則150日以内。外科手術、肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群の場合、原則90日以内の入院となります。但し、当院ではおひとりおひとりの症状にあわせた入院期間を提案します。

入院相談の流れ

入院の対象となる疾患

- ① 脳血管疾患、脊髄損傷等の発症後2ヵ月以内
- ② 外科手術、肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有している方で、手術後又は発症後2ヵ月以内の方
- ③ 上記の①、②に準じる状態の方、を対象としています。

当院の入院の対象となる患者さま

当院は、東京都在住の方を対象としております。また、入院受付から実際の入院までに時間がかかりますので、上記の疾患発症後1ヶ月以内の相談(申込書ファックス)をお願いしております。上記住所以外、発症後1ヶ月以上の方は特別病棟の対象となりますのでお問い合わせください。

判定会議

入院中の病院のご担当医から、診療情報提供書、血液検査データ、ADL表(所定のもの無し)をファックスでお送りいただき、判定会議(月～金)にて入院の受け入れの可否を決定します。必要に応じて病状確認をさせていただきます。いただいたり患者さまの診察に伺うこともあります。

入院相談専用ファックス **5365-8514**

(ADL表については当院ホームページのものを使用いただくことも可能です)

ご家族による入院相談(予約制)

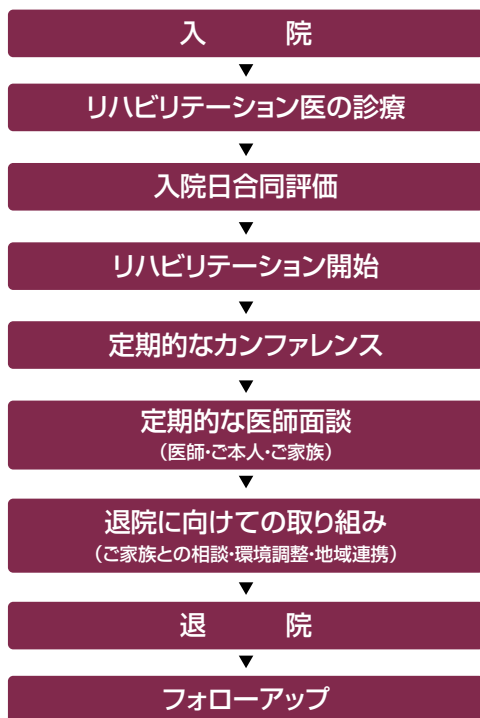
判定会議後、ご家族に、当院のサービス、条件を知っていただき、入院の意思確認をさせていただく目的で入院相談にお越しいただけます。特別なご希望がなければご本人の来院は必要ありません。ご家族からソーシャルワーカー宛に電話でご予約下さい。相談後、正式に入院の予約となります。

入院相談予約電話(代表) **5365-8500**(月～土 8:30～17:00)

入院相談 月～土の午前中(9:30～、9:45～、10:00～)・予約制

入院相談日に、下記資料をお持ちください

- ① 保険証類



入院日決定のご案内

入院日が決定次第、日時をご紹介元の病院ソーシャルワーカーへお知らせします。入院前日には、当院マネージャーから入院中の病棟へ電話にて状態を確認し、入院体制を整えてお待ちしております。

外来診療のご案内

当院のリハビリテーション外来は下記の患者さまのリハビリテーションを行っております。

- ① 当院を退院した患者さまのフォローアップ
- ② 東京23区内にお住まいで発症・受傷から間もない脳梗塞・脳出血・脊髄損傷などの後遺症を持つ患者さまや脊椎の圧迫骨折や大腿骨頸部骨折後の患者さまなど

※当院の外来リハビリテーションを開始するには、一度診察に来ていただき、判定が必要となります。ご病気の種類や発症からの期間によっては、ご相談に応じられない事もございますので、直接お問い合わせください。外来マネージャー宛にご連絡ください。

TEL.03-5365-8500

診療科目 リハビリテーション科 神経内科

診療受付時間 月～土曜日 午前8:30～午後4:40

診察時間 月～土曜日 午前8:40～午後4:50

休診日 日曜日・年末年始
※祝日は診療しております

訪問リハビリテーションのご案内

ご本人の身体の状態や、生活状況・住宅環境などから、課題と目標・期間をご家族も含め共に検討し、その人らしい生活が送れるように支援します。

訪問実施範囲 一部地域を除く、渋谷区全域
新宿区・中野区・杉並区・世田谷区の一部地域

訪問実施時間 月～土曜日 午前9:00～午後5:00
(祝祭日営業)※年末年始を除く

実施サービス内容 身体機能の評価、身体機能訓練
起き上がり・立ち上がり・歩くなどの動作訓練
更衣・排泄・入浴などの生活活動訓練
買い物・家事・掃除などの生活関連活動訓練
日常生活の介助方法の工夫や指導
住宅改修・福祉用具の利用など生活環境の調整への助言・指導
活動範囲の拡大や社会参加へ向けた支援
嚥下訓練
言語訓練・コミュニケーション方法のアドバイス

■対象となる方

かかりつけ医が理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による訪問リハビリテーションが必要であると判断した方。

※かかりつけ医からの情報提供が必要となります。

介護認定を受けている方は、介護保険でのサービスとなります。

ケアマネージャーを通してお申し込みください。

TEL.03-5365-3205

個人情報保護についての方針 個人情報の利用目的について

当院では、患者さまの個人情報を診療・看護および医療にかかわるサービスを提供する目的で収集・利用させていただきます。これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者さまから同意をいただくことしております。

個人情報保護に関するリーフレットが用意しておりますので、ご一読ください。手続きの詳細のほか、ご不明な点につきましては、総合相談窓口までお気軽におたずねください。

診療情報の開示について

診療上の情報はすべて患者本人に帰属すべきものであり、患者の皆さまには、当然診療上の情報の開示を求める権利があります。私たちは理念に掲げましたように、情報を開示し皆さまと共有することで、より質の高いサービスが提供できるように努力を続けております。診療情報の開示をご希望の皆さまは、総合相談窓口までお申し出ください。診療情報開示に関するリーフレットが用意しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

セカンドオピニオンについて

治療方針などについてセカンドオピニオンの希望がある場合は、院内での他の医師との面談の設定や、セカンドオピニオンの提供先の紹介も行うなど、ご相談に応じます。主治医、マネージャー、ソーシャルワーカー等におたずねください。

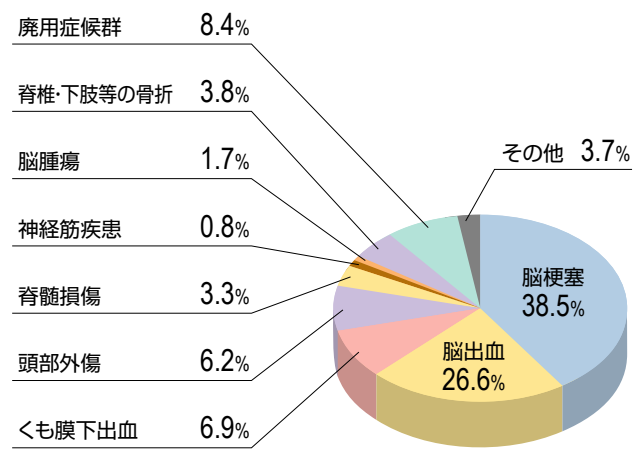
敷地内禁煙のお願い

当院では、平成17年4月1日から敷地内禁煙としております。私ども医療機関は、皆さまの健康を守ることを使命としており、これまでも皆さまには禁煙をお勧めしてまいりました。また、皆さまを受動喫煙からお守りすることも私どもの義務であると思っております。皆さまのご協力に感謝いたします。

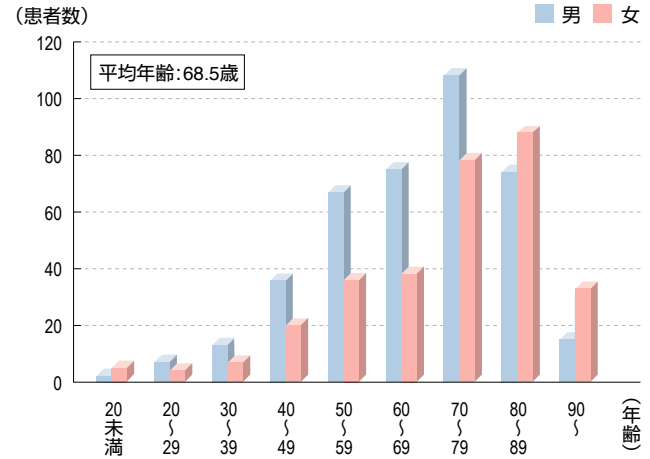
入院データ

2020年4月～2021年3月

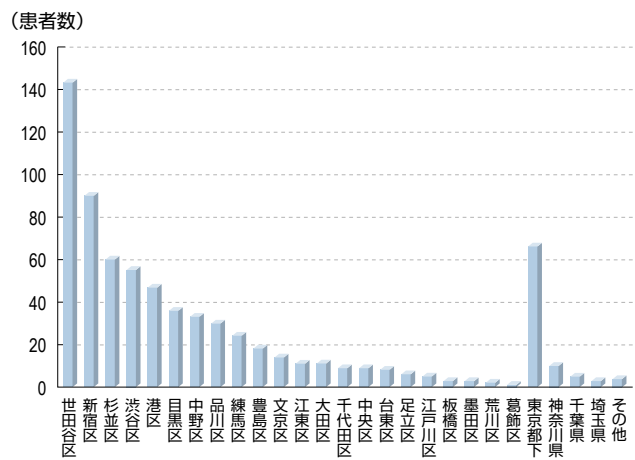
疾患内訳(706名)



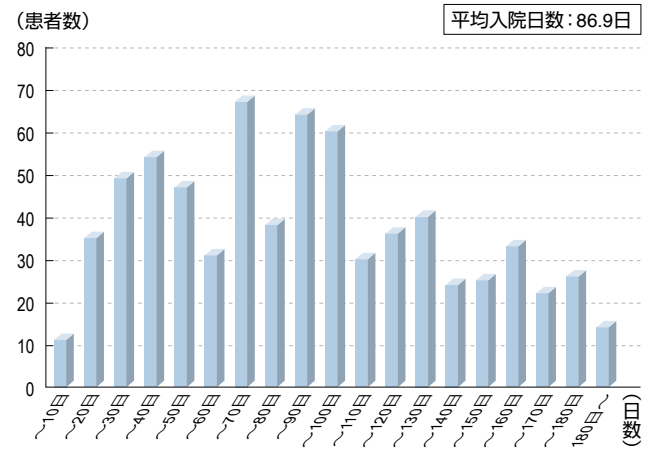
性別・年齢別入院患者数(706名)



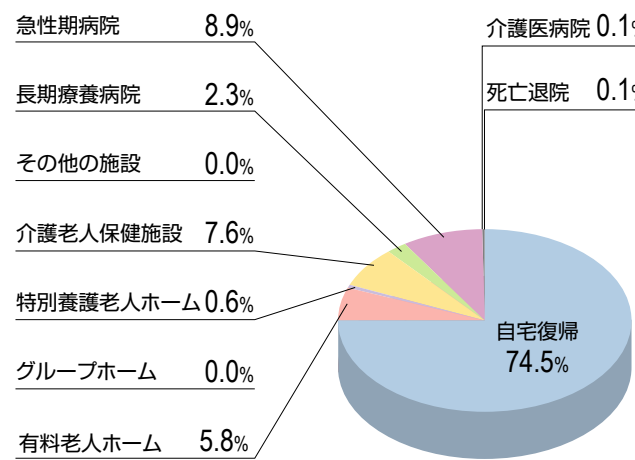
居住地別患者数(706名)



退院患者の入院日数(706名)



退院先(706名)

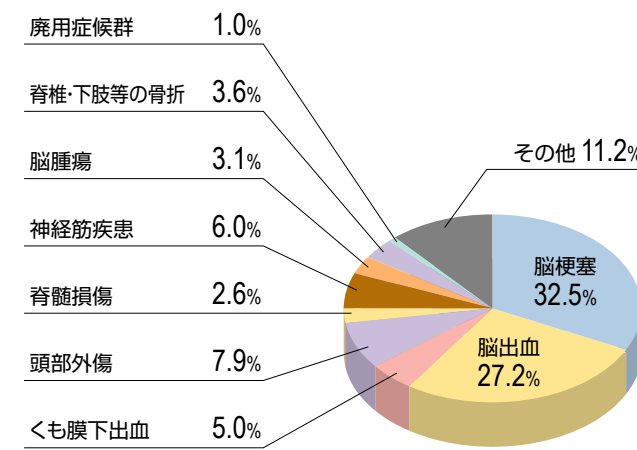


注) 急性期病院に短期間転院され当院に再転院した場合は、これを一連の入院として扱いました。また、急性期病院を経て自宅などに退院された方は、最終退院先を退院先としました。

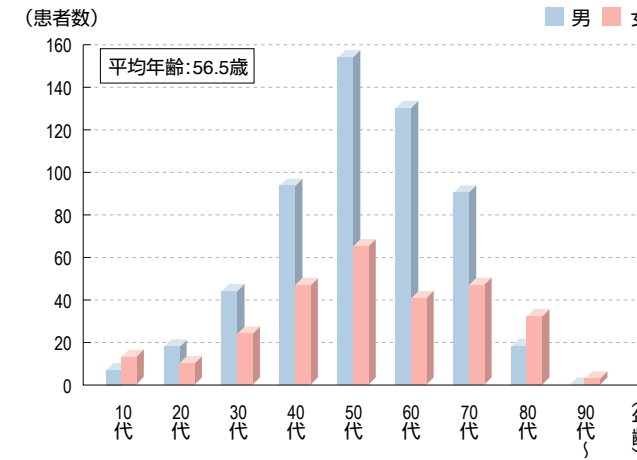
外来データ

2020年4月～2021年3月

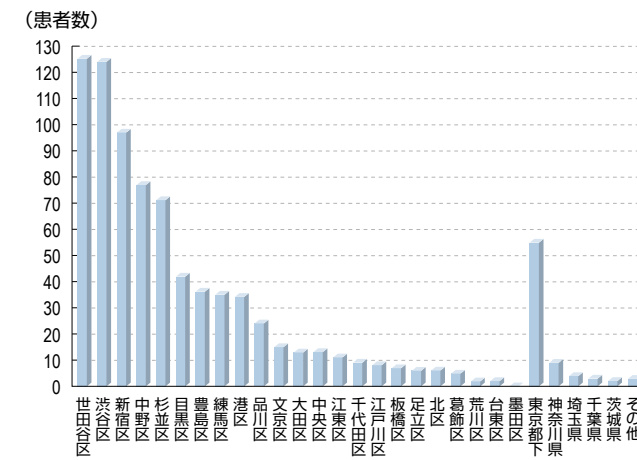
疾患内訳(838名)



性別・年齢別外来患者数(838名)



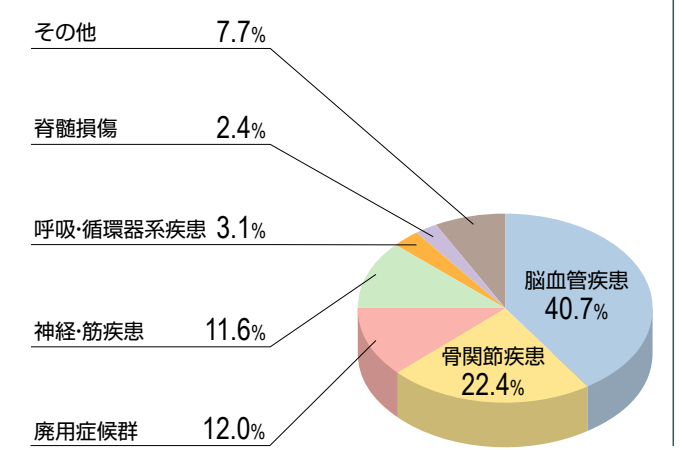
居住地別患者数(838名)



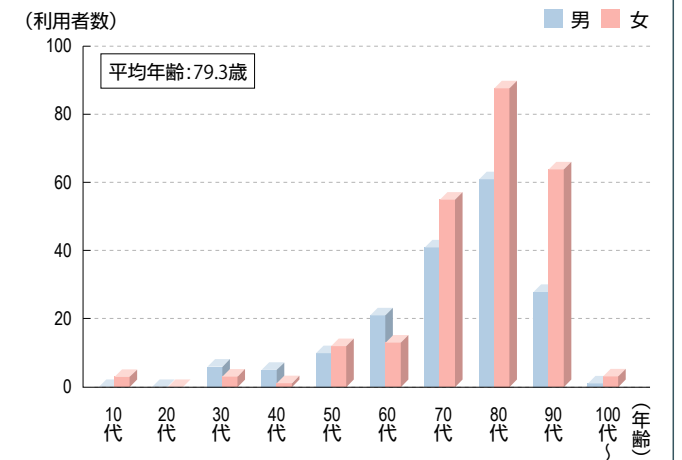
訪問データ

2020年4月～2021年3月

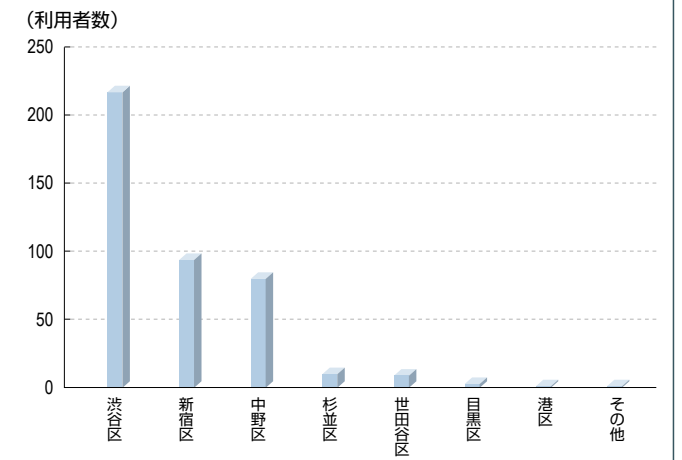
疾患内訳(415名)



性別・年齢別訪問利用者数(415名)



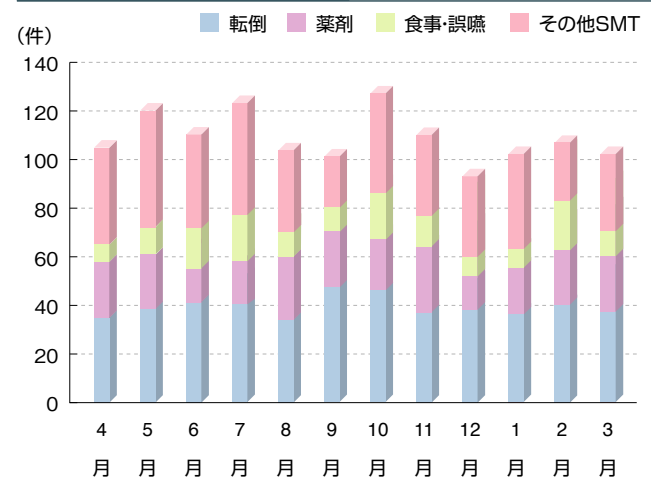
居住地別利用者数(415名)



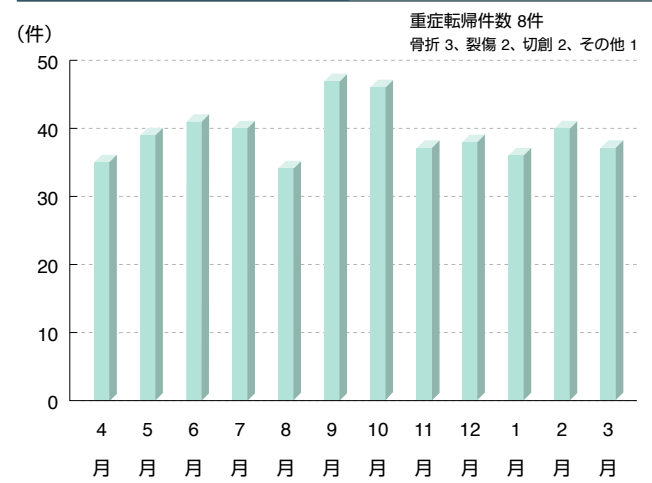
院内事故・転倒件数

2020年4月～2021年3月

院内事故件数の月次推移



院内転倒件数の月次推移



やすらぎの環境



目を楽しませてくれる絵や置物や植栽



食事は3食とも、和食か洋食かを選べます(治療食の方を除く)



コンサート・納涼祭・もちつき大会

食事をおいしく味わっていただきたい、
入院生活を少しでもリラックスして過ごしていただきたいとの思いで、
イベントの企画ややすらげる空間作りに工夫を凝らしています。



吹き抜けのスペースで毎週開かれるコンサート



「もちつきは入院して初めて経験した」なんて方も



納涼祭

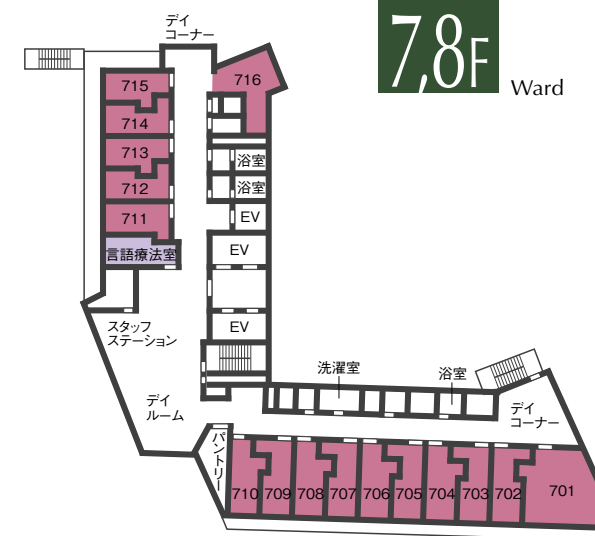
各フロアのご案内



■ スタッフ数

2021年5月1日現在

病棟	病床数	回復期支援部・生活期支援部							診療部		診療支援部		栄養部		サポート部				計	
		マネジャー	看護師	ケアワーカー	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	ソーシャルワーカー	管理栄養士	医師	薬剤師	放射線技師	臨床検査技師	栄養士	調理師	スタッフサポート	リハビリスケジュールサポート	カスタマーサポート		クレーク
8F	16		10	5	6	5	2	1		1										35
7F	16	3	10	6	6	6	2	1		1										32
6F	-	2					1		1					11	7					22
5F	45	3	21	11	19	13	7	3	1	3	1									82
4F	48	3	22	11	19	14	7	3	1	3	1									84
3F	48	3	21	11	18	12	8	3	1	3	1									81
2F	外来通所	3	4	3	9	9	7	2		1	1									40
	訪問				8	4	3													15
1F	-											2	2			9	5	13	8	39
地域連携支援室		1																		1
計		18	88	47	85	63	37	13	6	12	5	2	2	11	7	9	5	13	8	431



■ 個室 ■ 4人床

